

【 18区砂防堰堤見学会 】

9月2日(月)砂防堰堤見学会が、18区内の7号堰堤と9号堰堤において開催されました。

18区内外から35名が参加し、国土交通省 中国地方整備局 広島西部山系砂防事務所の担当者による砂防堰堤の目的、仕組み、7号堰堤と9号堰堤の概要などの説明を受けました。

砂防堰堤の最上部に登り、通常では見られない砂防堰堤の裏側を見学する機会を得ました。

砂防堰堤は、土砂や流木などを防ぐ設備で、記録的な大雨などの時は、堰堤の上を大量の水が流れる可能性もあるので、「砂防堰堤が設置されたからと言って安心してはいけない」などの説明がありました。危険を感じたらまず避難。皆さん熱心にメモなどを取っていました。



7号堰堤前に集合 35名の参加者



7号堰堤の前での概要説明



西部山系砂防事務所 担当者の丁寧な説明



急な法面には深さ5mの杭が数多く打ち込まれている。



堰堤の高さは、約10m、人が小さく見えます。



堰堤上部で山側(裏側)の見学



通常は、見ることができない7号堰堤の裏側。
約1,000m³の土砂を受け止めることができる。



9号砂防堰堤の概要説明
取付道路の舗装、流路工の残りの工事は、
今年度中に発注予定。



9号堰堤からは、あさひが丘団地が一望できる
絶景場所。



9号堰堤の裏側。
約2,000m³の土砂を受け止めることができる。